

教科: 商業

科目: 簿記

単位数: 5 単位

対象学年組: 第 1 学年 HR 11 ~ HR 16

教科担当者:

使用教科書: ( TAC出版 簿記 )

教科 商業

の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 簿記

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・簿記に関する基本的・基礎的な知識を身に付け、その基本的な仕組みや知識を身に付けようとし、適正な会計処理を行うことができる。	・適正な会計処理を行うことを目指して試行を深め、基本的・基礎的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現しようとしている。	・簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身に付けようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 企業の簿記 【知識及び技能】企業の様々な経営活動を帳簿に記録・計算・整理するための技術を学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】帳簿から企業の経営成績や財政状態を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】簿記の意味・目的・歴史を自ら学ぼうとさせる。	①簿記の意義 ②財務諸表と5つの要素 ③日常の手続き ④商品売買Ⅰ ⑤商品売買Ⅱ	【知識・技能】企業会計の基本となる3つの前提に関する基礎的な知識を身に付け、簿記を学ぶことの必要性や重要性について理解している。 【思考・判断・表現】簿記の意味・目的・種類・歴史の前提について施行を深め、簿記の必要性と重要性を考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】前提について自ら学び、簿記の必要性や重要性を理解したうえで、簿記の学習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30
	【中間考査】			○	○		1
	仕訳と総勘定元帳への転記 【知識及び技能】仕訳を取引の発生順に記録する帳簿である仕訳帳について学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】仕訳帳だけでなく、総勘定元帳にも記入する理由を学習させる。 【学びに向かう力、人間性等】簿記に必要な帳簿であることを理解させる。	①現金・預金 ②小口現金 ③クレジット売掛金 ④手形取引 ⑤電子記録債権・債務 ⑥その他の取引Ⅰ～Ⅲ ⑦様々な帳簿の関係 ⑧試算表	【知識・技能】具体的な取引を仕訳帳や総勘定元帳に記入する技術を習得している。 【思考・判断・表現】取引を仕訳帳だけでなく、総勘定元帳にも記入する理由について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】各帳簿が簿記にとって必要不可欠であることを理解し、主体的かつ積極的に学習しようとしている。	○	○	○	40
【期末考査】			○	○		1	
2 学期	決算 【知識及び技能】定率法や間接法、有価証券の評価、経過勘定項目などについて学習する。 【思考力、判断力、表現力等】決算整理事項を行う必要性を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】各取引について主体的かつ積極的に身に付けさせる。	①決算 ②決算整理Ⅰ～Ⅶ ③決算整理後残高試算表 ④精算表	【知識・技能】決算整理事項についてその概要や決算整理仕訳を理解している。 【思考・判断・表現】各決算整理事項を行う必要性について考え、自分の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】決算整理をともなう一連の決算手続きについて主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	50
	【中間考査】			○	○		1
	株式の発行、税金の記帳 【知識及び技能】各取引について仕訳の仕方を習得し仕訳を行わせる。 【思考力、判断力、表現力等】株式会社における株式の発行や剰余金の処分や配当、税金などをイメージし、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】各取引について主体的かつ積極的に身に付けさせる。	①帳簿の締め切り(英米式決算) ②損益計算書と貸借対照表 ③株式の発行 ④剰余金の配当と処分 ⑤税金 ⑥証ひょう ⑦伝票	【知識・技能】基本的な取引および仕訳について理解している。 【思考・判断・表現】株式の発行や株式会社にかかる税金が、税法上、費用として認められるものであるか否かを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】取引について自ら学び、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	50
【期末考査】			○	○		1	

3 学 期	検定模擬問題	日商簿記検定3級検定問題集		○	○	○	20
	【学年末考査】			○	○		1
							合計
							195